

令和4年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	美術振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	アートプラザ						
	所在地	大分市荷揚町3番31号						
	設置目的	市民の芸術文化活動の振興を図り、もって市民文化の向上に資すること。						
指定管理者	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和41年						
	名称	アートプラザ共同事業体(㈱コンベンションリンケージ・㈱メンテナンス)						
	代表者名	㈱コンベンションリンケージ 代表取締役 平位 博昭						
指定管理業務の内容	所在地	大分市内町1丁目3番18号 ポラリス府内						
	指定管理業務の内容	①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④その他指定管理に付随する業務 ただし、3階磯崎新建築展示室及び2階60年代ホール展示業務並びに1階収蔵庫本来の業務管理は市直営とする。						
	料金体系	市民ギャラリーA 5,500円/日 市民ギャラリーB 2,350円/日 アートホール 9,950円/日 アートホール 1,200円/時間 研修室 720円/時間 実技室 220円/時間 1. 利用時間に1時間未満の端数がある時、又はその利用時間が1時間未満のときは1時間とする。 2. 冷暖房期間中は、上記により算定した利用料の4割に相当する額(その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額)を加算する。						
利用料金制	導入済	選定方法			公募			
指定期間	平成 31年 4月 1日～令和 6年 3月 31日 (5年間)			導入年度		平成19年度		
利用者数 (単位:人)		R3年度 目標④		180,000		達成率 ①/④ 44%		
18年度② (前年度)	29年度	30年度	R1年度	R2年度③	R3年度①	18年度比 ①-②	R2年度比 ①-③	
138,162	170,023	172,799	161,900	56,609	78,624	▲ 59,538	22,015	
管理運営経費の削減額(直営比較時) (単位:千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度30年度(c)	30年度	R1年度	R2年度	R3年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)-(b)	前指定期間比較 (a)-(c)	
79,413	73,540	73,540	74,220	76,026	75,931	▲ 3,482	2,391	
利用者満足度(%)		満足	やや満足	配置職員数(人)		直営時又は導入1年目	令和3年度	
		58	25			10人(直営時)	23人	

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント							
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組							
(1) 施設の設置目的の達成							
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。							
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。							
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】							
・自主企画事業を48件開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、人数制限を行ったことも併せ、参加者数が伸び悩んだ。 ・ホームページや機関紙、SNSの活用、類似施設との連携をはじめ、メディアとの人脈などにより広報を行っている点が評価できる。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に引き続き施設利用者数が低迷しているが、開催できたイベントが増えたため、年間利用者数は前年度より約2万人の増加となった。							
(2) 利用者の満足度							
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							
②サービスの質や量は向上しているか。							
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。							
④利用者への情報提供が十分になされたか。							
【実績】							
・前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和元年度と比較して利用者数が約50%にとどまった。一方で、開催された自主企画事業に対するアンケートでは、満足したという回答が多かった。 ・防災訓練や介助研修等、教育指導を徹底しており、施設利用者およびイベント主催者への対応は良好である。 ・前年度に引き続き、貸館業務のキャンセルや自主企画事業の中止などの対応があった。利用者からは、新型コロナウイルス感染症関連の問合せがあった際も、十分な説明を行い、丁寧に対応できている。							
2 効率性の向上等に関する取組							
(1) 経費の低減等							
①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。							
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
【実績】							
・人件費については人員を削減することなく、従来通りの経費負担となっている。 ・再委託は適切に実施されている。 ・節電の取組みや、使用済みポスターの再利用などによる経費削減に努めている。							
(2) 収入の増加							
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】							
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、令和元年度以前に比べ貸館収入および自主企画事業収入が減少しているが、前年度と比較すると、研修室等の貸館利用率が増えたため収入は約50万円増、自主企画については開催したイベントが増えたため事業収入は約100万円増となった。							

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
(1) 施設の管理運営の実施状況	
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。	
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。	
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	
【実績】	
・適正な人員配置を継続しており、良好である。 ・接遇研修、避難訓練、人権・同和問題研修などを積極的に実施している。また、施設の特徴を理解し、接遇に反映している点が評価できる。 ・地元雇用を行い、地元商店街や、大分県立美術館などの他文化施設との連携を図っている。貸館業務では市民の作品展示を積極的に受け入れており、自主企画事業においても、地元アーティストへの支援を行っている。	
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)の遵守等に遺漏はないか。	
②施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。	
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。	
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。	
【実績】	
・関連法令の遵守、個人情報保護対策は適切に行われている。 ・苦情やトラブルは少なく、公正な対応が行われている。 ・月次モニタリングの際、収支確認において、適切な事務処理が行われている。 ・独自で緊急時対応マニュアルを作成し、防災訓練を年1回実施することにより、緊急時の即応体制が確保されている。	

【総合評価】

【所見】  
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年と比較し利用者数の減少が続いており、前年度より利用者数は約2万人増加したものの、目標値の約半数にとどまった。アートプラザは、市民がアート作品を気軽に発表できる場として整備され、現在は市美術館や県立美術館とともに、中心市街地における文化・芸術の発信拠点として期待される施設である。令和3年度においても、貸館利用者数は例年より減少しており、施設全体の利用率は約57%となっている。施設のうちギャラリーA・Bについては、感染が急拡大した7～8月頃の利用率が特に低下しているが、秋頃には回復している。一方で、実技室および研修室については、年間を通して利用率は約60%以上を保っている。

【今後の対応】  
今後も引き続き、中心市街地における文化芸術の発信拠点として、地域の住民や各種商業施設、市美術館をはじめとした文化施設等との連携を行う。様々な自主企画事業を開催し、市内外に向けた発信の場を設けることで、より一層の利用者の獲得と、アートの振興に寄与するよう取り組んでいきたい。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
・施設の意義がどの程度果たされているのかしっかりと把握し、アートがもたらす効用を市民がより享受できるような施設運営を目標として、より適切な目標や指標を設定する必要がある。 ・子ども時代にアートに触れることは非常に重要であると考えており、小中学生の年間訪問率を指標として設定するなど、市として市民文化の向上に資するためのビジョンを明確に示していただきたい。 ・Facebookの活用について、フォロワー数の増加や、よりいいね!をもらえるように内容を工夫する必要がある。 ・施設の安全かつ効率的な運営に支障を来さないよう、修繕が必要な場合は、計画的に実施していただきたい。 ・大分市の芸術分野を担う若者達のインキュベーション施設として重要な役割を担っていることから、今後も魅力的な事業実施に努めていただきたい。	・アートプラザでは、幅広い世代に参加してもらうため、年間を通じて親子で参加するワークショップや大人向けの美術講座、夏休みの小学生対象イベントなど、体験型の自主事業を企画している。また、磯崎新氏の周知を目的として開催している「建築キッズ作品展」は第10回を迎え、絵画部門に立体部門を新設し作品の募集も行うなど、子どもたちがアートに触れ、創造する機会を増やしている。 ・SNSの活用について、従来のFacebookに加え、令和3年9月にInstagramを開設し、アートプラザでのイベントの告知や、出展者の作品紹介などを行っている。また自主事業の一環として、若手建築家の視点で磯崎新建築を紹介するイベントをSNS上で実施した。 ・施設は築56年が経過し、老朽化が進んでいるが、今年度、構造躯体の健全性調査等を実施し、施設の長寿命化に向けた改修計画を作成する予定である。 ・若手アーティストの作品展示や、ミュージアムショップでの販売を一般公募するなど、アーティストへの支援を今後も継続して行っていく。

【R4年度 指定管理者評価部会の意見】

- ①大分市として、小中学生のアートプラザの来館の有無について調査し、その結果を検証していただきたい。小中学生の美術に関する意識がどの程度あるか把握できるとよいと思う。
- ②アンケートを見ると、常連が多いようにあるが、公益性の観点から、より多くの人に利用してもらえるよう工夫を重ねていただきたい。
- ③アンケート集計結果をパーセンテージ等で示したほうが分かりやすい。